

平成30年12月24日

佐野市議会議長 井川克彦様

建設常任委員会委員長 久保 貴洋

建設常任委員会行政視察報告書

- 1 期 日 平成30年10月22日（月）及び 同月23日（火）
- 2 視察地及び視察事項
 - (1) 滋賀県長浜市
「新庁舎及び黒壁を中心とした市街地活性化について」
 - (2) 京都府舞鶴市
「まちなかにおける空き家対策、お試し住宅について」
- 3 派遣委員 久保 貴洋 委員長、慶野 常夫 副委員長、本郷 淳一 委員、
鶴見 義明 委員、 春山 敏明 委員、 山菅 直己 委員
- 4 随行者 議事課 議事調査係 主査 亀田 昌久
- 5 視察概要 別紙のとおり

長浜市 視察概要

(1) 滋賀県長浜市

長浜市の概要

- ・人口 118,545人 (平成30年12月1日現在)
- ・面積 681.02km²
- ・議員定数 26人 ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 24万円

視察概要 「新庁舎及び黒壁を中心とした市街地活性化について」

○内容

長浜市では、黒壁を中心とした市街地活性化として昭和63年に第三セクターとして行政と民間が一体となって街並みの整備、そして商店街の振興を展開し、その結果、遠方から沢山の方が訪れる街となりました。

これらを直接お聞きし、勉強させていただきこれからの佐野市の中心市街地活性化の街づくりの為に視察研修を行うものであります。

○所感

長浜市は、経済産業省とのパイプが強く、国からの戦略補助金を受けて市街地の活性化を推進しており、本市も中心市街地活性化の参考にできれば良いと思います。

現在、佐野市は「佐野プレミアムアウトレット」や「イオンショッピングセンター」等があり、年間800万人ほどの方が訪れますが、その方々を如何に街中に呼び込むことができるかが課題です。

長浜市は人を呼び込める黒壁の街並みがあることが大きな財産だと思います。市街地の活性化には、地主や家主たちが共同で街づくりをしていくことが大切であると思います。

以前は無かったガラス製品を、ガラスを扱う職人や専門学校の卒業生などの方に来ていただき、また小学校児童達に体験学習などしていただき、少しずつ進めてきた結果、ガラスの認識を広めていきながら今までなかったものを製品としたことは素晴らしい発想であると思います。

長浜市中心市街地活性化基本計画の第1期・第2期を進めるに当たり、それぞれ協議会を設け、それぞれの部会に分け議論を交わして実現性・効果があるのかを一つずつ検証してきたことは素晴らしいことだと思います。

舞鶴市 視察概要

(2) 京都府舞鶴市

舞鶴市の概要

- ・人口 80,920人 (平成30年12月1日現在)
- ・面積 342,13km²
- ・議員定数 26人 ・政務活動費 (議員一人当たりの年額) 26万円

視察概要「まちなかにおける空き家対策、お試し住宅について」

○内容

舞鶴市では、移住定住施策として「この街から一度は離れても帰ってきたくなるまち、この街に魅かれ、移り住みたくなるまち舞鶴」をコンセプトとして空き家情報バンク制度・お試し住宅の整備の支援を行っています。

本市においても同様な取り組みをしていますので、今回勉強させていただき、これからの活動の為に研修として行うものであります。

○所感

ふるさと舞鶴アンケートとして、舞鶴市内の中学校生徒たちの意見を聞き、これらの生の声を聞いて街づくりしているところは素晴らしいと思います。

インフラ交通網として、国道27号線西舞鶴道路をはじめとして京都舞鶴港に繋がる幹線道路整備を急ピッチで整備しており、西地区市街地における交通環境の向上や災害に強い道路ネットワークを確立しました。それらを子ども達に伝えて定住や離れても戻って来たくなる舞鶴のポテンシャルをアピールしているところは勉強になりました。

舞鶴を知ってもらうための取り組みとして、全国から集まった大学生100人が舞鶴市で地域の方々と交流しながら、様々なミッションをクリアする会議の「若者100人会議」を実施するなど、舞鶴市を知ってもらう働きは、素晴らしい取り組みであり大変参考になりました。

舞鶴市では空き家が7,100軒あり、まずは危険な空き家について対応していくことが方針であり、第一は所有者に会って対応していただくようにアプローチしていくとのことで、今後大変な作業が必要となることが分かりました。